

2019 年度 U12 釧路地区育成センター 参加同意書

釧路地区バスケットボール協会 U12 部会兼釧路地区ミニバスケットボール連盟 御中

<参加選手>

参加者氏名 _____

ふりがな _____

メンバーID _____

生年月日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

身長 _____ cm 体重 _____ kg

学校・チーム名 _____ 学年 _____ 年

<確認事項> (下記の内容を確認し、チェックを入れてください。)

- 「本事業で撮影した動画及び静止画の肖像権は釧路地区バスケットボール協会U12部会兼釧路地区ミニバスケットボール連盟に帰属すること」を確認しました。
- 「本事業の活動中・移動中における事故・けが・盗難・傷害、その他の事故についての補償は、加入する保険の範囲内であること」を確認しました。
- 「マルファン症候群に関する注意」を確認しました。
- 参加選手が制限なく競技レベルのバスケットボール運動を行えることに同意します。

上記選手の派遣および確認事項について、保護者として同意します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

保護者名 _____ 印

〒

住 所 _____

電話番号 _____

2019年3月

指導者の皆様

公益財団法人日本バスケットボール協会
スポーツ医学委員長 森 淳
【公印省略】

マルファン症候群の理解促進に関するお願い

時下益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

平素より、当協会の活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨今、突然死を来すような疾患を持ちながら競技バスケットボールに参加している事例が増加しており、死亡例も確認されております。一般的に若年アスリートの突然死で多い肥大型心筋症や致死性不整脈に加え、バスケットボールのように長身者が多いスポーツにおいて注意すべき点として、マルファン症候群を含めた潜在的に存在する心大血管疾患が挙げられます。そこで、当協会では、健全な選手育成と共に、スポーツ活動のみならず日常生活における突然死を予防するために、マルファン症候群に関する情報提供と啓発活動を行っております。つきましては、指導者の皆様には、保護者の皆様にも送らせていただいている、別紙「マルファン症候群に関する注意」を確認していただき、マルファン症候群についての理解を深めて頂きたく存じます。

なお、2017年度からは育成センター事業に参加する選手/保護者の皆様には問診票(緊急時連絡カード)の記載及び同意書の記入/提出をお願いし、保護者自身によって選手が事業に参加できるかどうかをチェックして頂くシステムに変更致しました。指導者の皆様におかれましても是非ともマルファン症候群について理解を深めて頂き、バスケットボール界における事故防止にご協力いただけると深甚です。

皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

<問い合わせ先>

公益財団法人日本バスケットボール協会
基盤強化グループ育成普及担当：山本・佐藤
スポーツ医学委員会担当：深尾
TEL: 03-4415-2020 (9:30-17:30)
E-mail: jba-youth@basketball.or.jp

「マルファン症候群に関する注意」

マルファン症候群の外見上の特徴は高身長です。したがって、長身者の多いバスケットボール選手においては注意が必要です。

マルファン症候群は、体の組織を支えたり、力を伝達する結合組織(骨格、眼、心血管など)に異常をもたらし、将来、大動脈解離(大動脈血管壁の一部が裂ける)等による突然死の原因になる心大血管異常を引き起こす危険性を持っています。心大血管異常は、強度の強い運動を続けることにより増悪するといわれています。また、他の組織も衝撃に弱いために、バスケットボールのような体のぶつかるスポーツは回避すべきとされています。

したがって、日本バスケットボール協会では、選手選考に際して、マルファン症候群またはその類縁疾患の診断がある、もしくはその可能性がある場合、医師との協議を必須としており、その結果、参加が認められないこともあります。

以下の項目を確認し、当てはまる場合、専門科(年齢により循環器内科または小児(循環器)科)の受診をお勧めします。(*判断に迷われた際は、まず、一般内科医へのご相談をお勧めします)

- マルファン症候群、若年での大動脈疾患、若年での突然死の家族歴がある。
- 心大血管疾患の既往歴があり、最近2年以上検査を受けていない。
- マルファン症候群を疑われ過去に検査を行い問題なかったが、3年以上経過してしる。
- **水晶体脱臼**の既往歴や手術歴がある。
- 高身長(痩せ型)、長四肢、長指趾、**漏斗胸**、**鳩胸**、明らかな側弯症、
- 下記の簡便な身体所見が複数あてはまる。
 - * **指極間距離**[図 A]: 指極(arm span)/身長が 1.05 を超えると陽性
 - * **サムサイン(Steinberg 母指徴候)**[図 B]: 母指を曲げて掌の中に握りこんだ際に、母指の先端の爪の部分が完全に飛び出す場合を陽性
 - * **リストサイン(Walker-Murdoch 手首徴候)**[図 C]: 親指と小指で反対側の手首を握ると小指の末節骨まで完全に親指を重ね合わせることが可能な場合を陽性

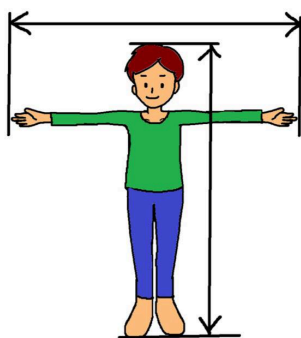


図 A



図 B

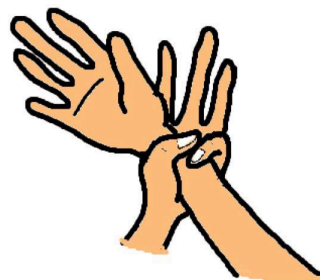


図 C

* 詳細は日本マルファン協会ホームページ <http://www.marfan.jp> をご参照ください。

なお、マルファン症候群は、早期発見、早期治療により健常人と同様な生活を送ることができるようになってきており、軽症の場合、医師の適切な管理の元で、経過を見ながらクラブ活動を続けることも可能です。診断された場合には、上記専門科に相談されることをおすすめします。